

(報告事項 )

第 1303 回 経営委員会資料

平成 30 年 3 月 27 日

## 新富山放送会館の整備方針・概要について

新富山放送会館の移転整備については、富山県と昨年 4 月に土地交換等の協議に関する基本合意書を締結し、現富山放送会館土地と旧富山中央警察署土地（富山市新桜町 4 番 2）との交換による用地取得に向けた協議を進めている。これと並行して、公共放送の役割を果たすための会館の機能や規模について具体的な検討を重ねてきた。

このたび、整備概要がまとまったので、会館建設に向けて着手する。

# 整備方針および整備概要

## 1 基本コンセプト

### (1) 災害に強い放送局

神通川と常願寺川に挟まれる富山市内は破堤等による洪水の危険性が指摘されている。また、市街地のほとんどは呉羽山断層の上に立地している。このため、大規模な自然災害が発生した場合であっても放送局機能を維持し、安全・安心情報を的確に発信し続けることができる放送会館を建設する。

### (2) 富山県の魅力や情報を発信する拠点

新会館用地は富山県の中心市街地に位置し、県庁や市役所、富山駅など主要な公共施設が隣接する。特に北陸新幹線開通後は、海外や県外からの観光客も増加しており、富山県の魅力や情報を発信する拠点として、重要な責務を担っている。

このような好条件を生かし、公開放送やパブリックビューイング、ギャラリーの開放などを実施してにぎわいを創出するとともに、交流拠点としての役割を果たし、地域社会の期待に応える。

### (3) 周辺景観と調和する環境にやさしい会館

新会館用地は官公庁やオフィスビルが隣接する場所にあり、周辺環境と調和した温かみのある放送会館とする。

また、CO<sub>2</sub>削減はNHKの経営課題のひとつであり、さまざまな省エネルギー施策を講じることで、環境にやさしい放送会館を目指す。

### (4) 風通しのよい“オール・ワンフロア” 職場

現放送会館は、お客様対応が必須の営業部を除いて、局長室、企画編成部、放送部、技術部がすべてワンフロアに配置されており、スムーズな意思伝達が可能となっている。

新会館でもこの構造を引き継ぎ、さらにレイアウトを効率的に配置することで、放送局機能の強化と風通しのよい職場環境づくりを行う。

## 2 新会館の概要

区 分	新会館	現会館
(1)所在地	富山市新桜町4番2	富山市新総曲輪3番1
(2)敷地面積	3,651.90㎡	3,581.88㎡
(3)延床面積	5,090㎡	3,844.70㎡
(4)階数	地上3階程度	地上3階
(5)完成年度	2022年度(予定)	1966年3月
(6)建設費	建物：31億円程度 (設計監理費、杭工事費、液状化 対策費、浸水対策費を除く) 放送設備：24億円程度 (経常事項の更新経費を含む)	———
(7)土地交換差金	0.8億円程度(富山県がNHKに支払う)	
(8)土地賃借料	計1.3億円程度 (旧会館解体後に土地交換の場合)	———
(9)建設方式	単独建設	単独建設

## 3 会館の主要機能

### (1) 防災・機能強化

- ① 150年に一度程度の大雨によって周辺河川が氾濫した場合、新会館周辺では2m程度の浸水が想定されることから、建物1階の床レベルを地盤面から1m程度上げるとともに、防水板や防水シャッターを設置すること、電源設備を上階に設置することなどの対策を講じる。
- ② 建物は免震構造とする。
- ③ 2系統受電、自家発用オイルタンク(100時間運転可能)、車両用燃料備蓄設備(軽油1,000リットル程度)を整備する。また、受水槽に4日分の雑用水を確保する。

## (2) 放送センター機能および制作機能

- ① 放送設備・放送センター機能とともに局長室や企画編成部などの管理機能を一元的に配置することで、コミュニケーションの活性化と意思決定の迅速化を図る。
- ② ニューススタジオ（1層・100㎡）は、18時台のニュース情報番組「ニュース富山人」や、朝・昼・夜の定時ニュース、スポット番組などを制作する。また、選挙開票速報番組、特設ニュース等にも使用する。
- ③ 汎用スタジオ（2層・150㎡）は、1階ハートプラザおよび汎用スペースに隣接して配置し、公開番組や選挙開票速報等に使用するほか、視聴者のスタジオ見学にも対応する。

## (3) 視聴者交流機能

ハートプラザ（200㎡）には、8K対応の大型ディスプレイ、番組公開ライブラリー、イベント展示スペースなどを設置する。「富山県の魅力や情報を発信する拠点」と位置付け、にぎわいの創出とともに、交流拠点としての役割を果たす。

## (4) 鉄塔

放送会館と各放送所をつなぐ無線回線の構築や非常用送信設備を整備するため、地上高60m程度の鉄塔を設ける。

## (5) その他

- ① 太陽光発電設備を設置することや、空調や照明等の機器に高効率型を採用するなどさまざまな省エネルギー施策を講じることで、環境にやさしい放送局を目指す。
- ② バリアフリー条例の高位の基準適応を目指す。

#### 4 主な機能と面積

区分	主な機能	面積 (㎡)	現会館面積 (㎡)
放送機能室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューススタジオ</li> <li>・汎用スタジオ</li> <li>・ラジオスタジオ</li> <li>・放送センター</li> </ul>	2,120	1,767
視聴者公開スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートプラザ</li> </ul>	200	172
一般室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・局長室、営業事務室</li> <li>・会議室</li> <li>・業務用車両庫、倉庫</li> </ul>	980	924
建築設備室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気関係室、空調機械室</li> </ul>	770	420
共用スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下、階段、トイレ</li> </ul>	1,020	562
合計		5,090	3,845

#### 5 スケジュール（予定）

年度	事項
2018年度	プロポーザルなどによる設計者選定着手
2019年度	基本設計着手：各室レイアウトやデザイン、構造計算等 実施設計：基本設計図に基づき詳細な仕様を図面化
2020年度	建物（着工） （土工事 建物躯体、内装工事 電気設備・空調給排水設備工事 自家発・受配電設備工事 鉄塔工事、外構工事）
2021年度	
2022年度	
2022年度	建物（完成） 放送設備（完成） 運用開始 土地交換 ※旧会館建物を解体する場合は2023年度

○新会館移転予定地位置図

